

平成23年社会生活基本調査 奈良県結果の概要

I 生活時間

1 1日の生活時間の配分

～仕事や家事などの2次活動時間は減少、休養や娯楽など3次活動時間は増加～

奈良県に住んでいる15歳以上の人について、1日の生活時間の週全体の平均をみると、1次活動時間が10時間35分、2次活動時間が7時間1分、3次活動時間が6時間24分となっており、平成18年と比べると、1次活動時間が4分増加、2次活動時間が10分減少、3次活動時間が6分増加となっている。

男女別にみると、1次活動時間は男性10時間29分、女性10時間41分、2次活動時間は男性6時間52分、女性7時間8分、3次活動時間は男性6時間39分、女性6時間11分となっている。1次活動時間は女性が12分長く、2次活動時間も女性が16分長くなっており、3次活動時間は男性の方が28分長くなっている。

男女別の生活時間を平成18年と比べると、男性は1次活動時間が8分増加、2次活動時間が19分減少、3次活動時間が11分増加となっている。一方、女性は1次活動時間が1分増加、2次活動時間が2分減少、3次活動時間が2分増加となっている。女性は平成18年と比べて大きな変化は見られないが、男性は2次活動時間が大きく減少している。これに伴い、2次活動時間は、平成18年では女性が男性より1分短かったが、平成23年では逆に女性の方が16分長くなっている。(表1)

表1 男女別、行動の種類別生活時間(平成18年、23年)―週全体、15歳以上

単位: 時間. 分

行動の種類	H23年			H18年			増減(H23-H18)		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
1次活動	10.35	10.29	10.41	10.31	10.21	10.40	0.04	0.08	0.01
睡眠	7.31	7.38	7.24	7.32	7.37	7.27	△ 0.01	0.01	△ 0.03
身の回りの用事	1.22	1.10	1.32	1.16	1.04	1.27	0.06	0.06	0.05
食事	1.43	1.40	1.45	1.43	1.39	1.46	0.00	0.01	△ 0.01
2次活動	7.01	6.52	7.08	7.11	7.11	7.10	△ 0.10	△ 0.19	△ 0.02
通勤・通学	0.35	0.46	0.26	0.38	0.52	0.25	△ 0.03	△ 0.06	0.01
仕事	3.32	4.54	2.19	3.35	5.14	2.07	△ 0.03	△ 0.20	0.12
学業	0.26	0.28	0.23	0.27	0.30	0.24	△ 0.01	△ 0.02	△ 0.01
家事	1.42	0.18	2.56	1.44	0.16	3.02	△ 0.02	0.02	△ 0.06
介護・看護	0.04	0.04	0.04	0.03	0.01	0.05	0.01	0.03	△ 0.01
育児	0.15	0.05	0.23	0.18	0.04	0.30	△ 0.03	0.01	△ 0.07
買い物	0.27	0.17	0.36	0.27	0.15	0.37	0.00	0.02	△ 0.01
3次活動	6.24	6.39	6.11	6.18	6.28	6.09	0.06	0.11	0.02
移動(通勤・通学を除く)	0.31	0.29	0.32	0.31	0.31	0.31	0.00	△ 0.02	0.01
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	2.29	2.33	2.25	2.21	2.23	2.20	0.08	0.10	0.05
休養・くつろぎ	1.30	1.33	1.27	1.23	1.25	1.21	0.07	0.08	0.06
学習・自己啓発・訓練(学業以外)	0.13	0.13	0.12	0.14	0.16	0.12	△ 0.01	△ 0.03	0.00
趣味・娯楽	0.44	0.53	0.36	0.42	0.48	0.37	0.02	0.05	△ 0.01
スポーツ	0.12	0.15	0.08	0.14	0.18	0.10	△ 0.02	△ 0.03	△ 0.02
ボランティア活動・社会参加活動	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.00	0.00	0.00
交際・つきあい	0.18	0.17	0.19	0.21	0.19	0.23	△ 0.03	△ 0.02	△ 0.04
受診・診療	0.09	0.07	0.11	0.10	0.08	0.13	△ 0.01	△ 0.01	△ 0.02
その他	0.17	0.15	0.18	0.18	0.17	0.20	△ 0.01	△ 0.02	△ 0.02

～過去20年間の推移も、2次活動時間は減少、3次活動時間は増加傾向～

過去20年間の生活時間の推移を、15歳以上の人についてみると、3次活動時間は増加傾向にある。

1次活動時間は、平成3年から平成13年までは増加が続いていたが、平成18年で減少し、平成23年でまた増加となった。

2次活動時間は、平成3年から平成13年までは減少が続いていたが、平成18年で増加し、平成23年でまた減少となった。

3次活動時間は、平成3年から平成8年は増加したが、平成13年で減少し、平成18年以降また増加となった。(表2)

表2 行動の種類別生活時間の推移(平成3年～23年)―週全体、15歳以上

単位:時間.分

	1次活動		2次活動		3次活動	
	時間数	前回差	時間数	前回差	時間数	前回差
平成 3年	10.18	—	7.46	—	5.56	—
平成 8年	10.25	0.07	7.28	△ 0.18	6.07	0.11
平成13年	10.34	0.09	7.06	△ 0.22	6.02	△ 0.05
平成18年	10.31	△ 0.03	7.11	0.05	6.18	0.16
平成23年	10.35	0.04	7.01	△ 0.10	6.24	0.06

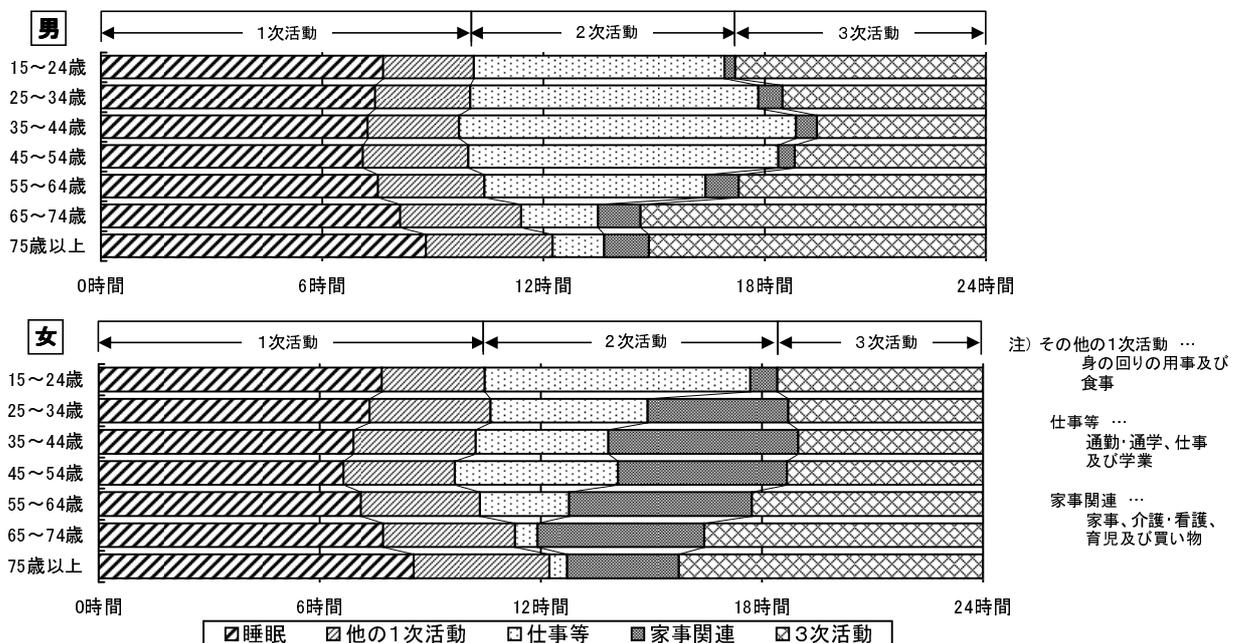
～男性35歳から44歳は、2次活動時間が最も長く、3次活動時間が最も短い～

15歳以上の人々の生活時間を男女、年齢階級別にみると、1次活動時間は男女共75歳以上(12時間14分)が最も長く、最も短いのは、男性が35歳～44歳(9時間43分)、女性が45歳～54歳(9時間41分)となっている。

2次活動時間は男性が35歳～44歳(9時間41分)女性が45歳～54歳(9時間1分)が最も長く、最も短いのは、男女共75歳以上(男性2時間37分、女性3時間30分)となっている。

3次活動時間は男性が65歳～74歳(9時間22分)、女性が75歳以上(8時間16分)が最も長く、最も短いのは、男女共も35歳～44歳(男性4時間36分、女性5時間2分)となっている。(図1)

図1 男女別、年齢階級別、行動の種類別生活時間―週全体、15歳以上



2 1次活動時間

① 睡眠時間

～男性より短い女性の睡眠時間～

15歳以上の人の睡眠時間は、7時間31分で男性が7時間38分、女性が7時間24分で男性より女性の睡眠時間が短い。

年齢階級別に睡眠時間をみると、男女共45歳～54歳が最も短く(男性7時間6分、女性6時間39分)、75歳以上が最も長い(男性8時間49分、女性8時間33分)。

15歳～24歳を除いた全ての年齢階級で、女性は男性より睡眠時間が短くなっており、特に45歳～54歳では27分短くなっている。(表3・図2)

～日曜日は長い睡眠時間～

15歳以上の人の睡眠時間について曜日別にみると、1日(午前0時から起算する24時間)のうち、平日が7時間19分、土曜日が7時間56分、日曜日が8時間5分となっており、平日に比べ日曜日の睡眠時間が大幅に長く、その差は46分となっている。

平成18年と比べると、わずかではあるが、土曜日の睡眠時間は増加し、平日及び日曜日は減少している。(表3)

表3 男女別、年齢階級別、曜日別睡眠時間(平成18年、23年)—15歳以上

単位:時間、分

	平成23年				平成18年				増減(H23-H18)			
	週全体	平日	土曜日	日曜日	週全体	平日	土曜日	日曜日	週全体	平日	土曜日	日曜日
総数	7.31	7.19	7.56	8.05	7.32	7.20	7.51	8.15	△ 0.01	△ 0.01	0.05	△ 0.10
男	7.38	7.25	8.06	8.17	7.37	7.23	7.57	8.27	0.01	0.02	0.09	△ 0.10
15～24歳	7.39	7.11	8.51	8.48	7.38	7.17	8.11	8.47	0.01	△ 0.06	0.40	0.01
25～34歳	7.26	7.02	8.11	8.42	7.12	6.47	7.57	8.31	0.14	0.15	0.14	0.11
35～44歳	7.14	6.57	7.51	8.02	7.14	6.53	7.42	8.32	0.00	0.04	0.09	△ 0.30
45～54歳	7.06	6.51	7.30	7.56	7.05	6.50	7.22	8.06	0.01	0.01	0.08	△ 0.10
55～64歳	7.31	7.20	7.49	8.09	7.34	7.26	7.45	8.06	△ 0.03	△ 0.06	0.04	0.03
65～74歳	8.07	8.09	8.00	8.02	8.13	8.12	8.13	8.20	△ 0.06	△ 0.03	△ 0.13	△ 0.18
75歳以上	8.49	8.50	8.56	8.36	9.16	9.16	9.13	9.19	△ 0.27	△ 0.26	△ 0.17	△ 0.43
女	7.24	7.13	7.46	7.54	7.27	7.16	7.45	8.03	△ 0.03	△ 0.03	0.01	△ 0.09
15～24歳	7.41	7.24	8.17	8.31	7.27	7.01	8.14	8.49	0.14	0.23	0.03	△ 0.18
25～34歳	7.21	7.03	8.05	8.07	7.30	7.18	7.50	8.08	△ 0.09	△ 0.15	0.15	△ 0.01
35～44歳	6.55	6.40	7.30	7.35	7.11	6.54	7.45	8.04	△ 0.16	△ 0.14	△ 0.15	△ 0.29
45～54歳	6.39	6.21	7.21	7.31	6.41	6.27	7.01	7.29	△ 0.02	△ 0.06	0.20	0.02
55～64歳	7.07	7.02	7.14	7.24	7.08	7.04	7.12	7.20	△ 0.01	△ 0.02	0.02	0.04
65～74歳	7.43	7.42	7.41	7.50	7.42	7.36	7.50	8.02	0.01	0.06	△ 0.09	△ 0.12
75歳以上	8.33	8.30	8.38	8.43	8.58	9.00	8.48	9.00	△ 0.25	△ 0.30	△ 0.10	△ 0.17

図2 男女別、年齢階級別睡眠時間—週全体、15歳以上

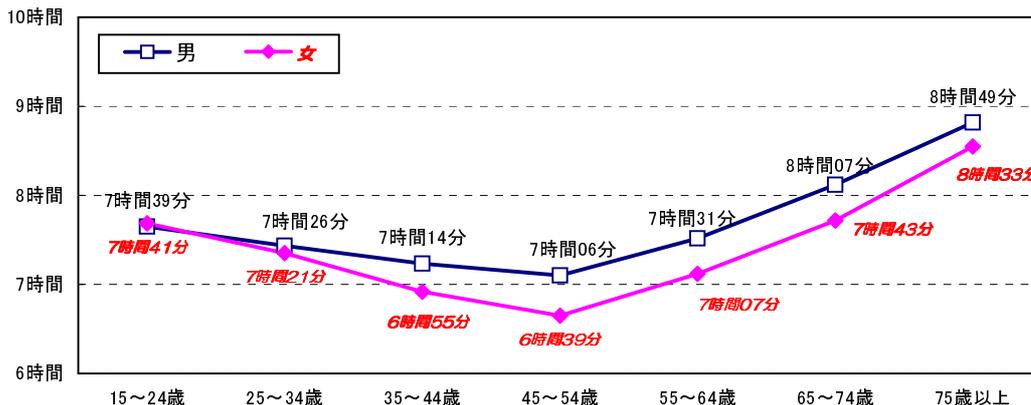


表4 男女別、睡眠時間の推移(平成3年～平成23年)一週全体、15歳以上

単位:時間.分

	総数		男		女	
	時間数	前回差	時間数	前回差	時間数	前回差
平成 3年	7.33	—	7.42	—	7.25	—
平成 8年	7.39	0.06	7.50	0.08	7.30	0.05
平成13年	7.41	0.02	7.47	△ 0.03	7.35	0.05
平成18年	7.32	△ 0.09	7.37	△ 0.10	7.27	△ 0.08
平成23年	7.31	△ 0.01	7.38	0.01	7.24	△ 0.03

② 身の回りの用事の時間・食事時間

～身の回りの用事の時間は増加、食事時間は横ばい～

15歳以上の人の洗顔、入浴、身じたく、化粧などの「身の回りの用事」の時間(週全体)は1時間22分で、平成18年と比べると6分長くなっている。

男女別に見ると、男性は1時間10分、女性は1時間32分と女性の方が長くなっている。

食事時間(15歳以上・週全体)は1時間43分で、平成18年と変わらず、男女別に見ると、男性が1時間40分、女性が1時間45分と女性の方が長くなっている。(表5-1・5-2)

表5-1 一日の身の回りの用事時間
(平成18年、23年)一週全体、15歳以上

単位:時間.分

	総数	
	H23年	1.22
	男	1.10
	女	1.32
H18年	1.16	
	男	1.04
	女	1.27
増減 (H23-H18)	0.06	
	男	0.06
	女	0.05

表5-2 一日の食事時間
(平成18年、23年)一週全体、15歳以上

単位:時間.分

	総数	
	H23年	1.43
	男	1.40
	女	1.45
H18年	1.43	
	男	1.39
	女	1.46
増減 (H23-H18)	0.00	
	男	0.01
	女	△ 0.01

表6-1 男女別、身の回りの用事時間の推移
(平成3年～平成23年)一週全体、15歳以上

単位:時間.分

	総数	男	女
平成 3年	1.07	0.54	1.19
平成 8年	1.04	0.54	1.13
平成13年	1.12	1.02	1.20
平成18年	1.16	1.04	1.27
平成23年	1.22	1.10	1.32
H23-H18	0.06	0.06	0.05

表6-2 男女別、食事時間の推移
(平成3年～平成23年)一週全体、15歳以上

単位:時間.分

	総数	男	女
平成 3年	1.38	1.33	1.42
平成 8年	1.42	1.39	1.43
平成13年	1.42	1.39	1.43
平成18年	1.43	1.39	1.46
平成23年	1.43	1.40	1.45
H23-H18	0.00	0.01	△ 0.01

3 2次活動時間

① 仕事時間

～35歳から44歳男性で最も長い仕事時間～

15歳以上の人のうち、有業者の1日の仕事時間(週全体)は6時間4分で、男性が7時間1分、女性が4時間50分となっている。これを平成18年と比べると5分短く、男性で10分短く、女性で10分長くなっている。

年齢階級別にみると、男性は35歳～44歳が最も長く(8時間7分)、女性は25歳～34歳が最も長く(5時間54分)となっている。平成18年と比べると、男性75歳以上で41分の増加がみられる一方、男性15歳～24歳では1時間15分の大きな減少がみられる。

曜日別に平成18年と比べると、総数では土曜日及び日曜日で増加している。(表7)

表7 男女別、年齢階級別、曜日別仕事時間(平成18年、23年)—15歳以上・有業者

単位:時間.分

	平成23年				平成18年				増減(H23-H18)			
	週全体	平日	土曜日	日曜日	週全体	平日	土曜日	日曜日	週全体	平日	土曜日	日曜日
総数	6.04	7.10	4.05	2.31	6.09	7.24	3.51	2.15	△ 0.05	△ 0.14	0.14	0.16
男	7.01	8.15	4.44	3.05	7.11	8.40	4.29	2.28	△ 0.10	△ 0.25	0.15	0.37
15～24歳	4.37	4.47	4.43	3.41	5.52	6.20	5.25	3.59	△ 1.15	△ 1.33	△ 0.42	△ 0.18
25～34歳	8.01	9.20	5.46	3.44	7.52	9.32	4.44	2.44	0.09	△ 0.12	1.02	1.00
35～44歳	8.07	9.41	5.03	3.21	8.22	10.22	4.38	2.11	△ 0.15	△ 0.41	0.25	1.10
45～54歳	7.27	8.47	4.55	3.20	7.41	9.20	4.38	2.27	△ 0.14	△ 0.33	0.17	0.53
55～64歳	6.44	8.10	3.59	2.19	6.29	7.49	4.01	2.13	0.15	0.21	△ 0.02	0.06
65～74歳	5.10	6.16	3.07	1.46	5.03	5.57	3.38	2.01	0.07	0.19	△ 0.31	△ 0.15
75歳以上	4.39	5.10	3.32	3.09	3.58	4.37	3.00	1.42	0.41	0.33	0.32	1.27
女	4.50	5.46	3.14	1.47	4.40	5.32	3.01	1.58	0.10	0.14	0.13	△ 0.11
15～24歳	5.01	5.14	5.21	3.36	4.30	5.10	2.53	2.47	0.31	0.04	2.28	0.49
25～34歳	5.54	7.17	3.19	1.37	5.29	6.43	3.11	1.36	0.25	0.34	0.08	0.01
35～44歳	4.49	5.57	2.38	1.21	4.41	5.46	2.43	1.18	0.08	0.11	△ 0.05	0.03
45～54歳	4.58	6.02	3.19	1.17	4.26	5.19	2.34	1.54	0.32	0.43	0.45	△ 0.37
55～64歳	4.43	5.38	2.56	1.57	4.29	5.07	3.26	2.22	0.14	0.31	△ 0.30	△ 0.25
65～74歳	3.01	3.26	2.12	1.49	4.04	4.27	3.57	2.18	△ 1.03	△ 1.01	△ 1.45	△ 0.29
75歳以上	3.33	4.00	2.18	2.32	3.06	-	3.55	-	0.27	-	△ 1.37	-

～男女とも、仕事時間は減少傾向～

15歳以上の人のうち、有業者の1日の仕事時間の推移を平成3年から比べてみると、男性の仕事時間は平成13年までは減少が続いていたが、平成18年に増加し、平成23年に再び減少している。また、女性の仕事時間は平成3年以来減少が続いていたが、平成23年に増加に転じている。(表8)

表8 男女別、仕事時間の推移(平成3年～平成23年)—週全体、15歳以上・有業者

単位:時間.分

	総数		男		女	
	時間数	前回差	時間数	前回差	時間数	前回差
平成 3年	6.30	-	7.17	-	5.14	-
平成 8年	6.11	△ 0.19	6.55	△ 0.22	5.03	△ 0.11
平成13年	6.00	△ 0.11	6.51	△ 0.04	4.51	△ 0.12
平成18年	6.09	0.09	7.11	0.20	4.40	△ 0.11
平成23年	6.04	△ 0.05	7.01	△ 0.10	4.50	0.10

② 家事関連時間

～男女の差が大きい家事関連時間～

15歳以上の人の1日の家事関連時間(「家事」、「介護・看護」、「育児」、「買い物」の合計時間)(週全体)は、男性が44分、女性が3時間59分となっている。

平成18年と比べると、男性が8分増加、女性が15分減少している。

男女の差は平成18年では3時間38分であったが、今回は3時間15分となり、その差は依然として大きい。(表9)

表9 男女、年齢階級、曜日別家事関連時間(平成18年、23年)－15歳以上

単位: 時間. 分

	平成23年				平成18年				増減(H23-H18)			
	週全体	平日	土曜日	日曜日	週全体	平日	土曜日	日曜日	週全体	平日	土曜日	日曜日
総数	2.28	2.23	2.35	2.41	2.32	2.30	2.33	2.38	△0.04	△0.07	0.02	0.03
男	0.44	0.38	0.57	1.04	0.36	0.26	0.54	1.05	0.08	0.12	0.03	△0.01
15～24歳	0.17	0.16	0.21	0.16	0.09	0.06	0.13	0.25	0.08	0.10	0.08	△0.09
25～34歳	0.39	0.30	0.57	1.00	0.33	0.16	1.16	1.17	0.06	0.14	△0.19	△0.17
35～44歳	0.34	0.12	1.12	1.36	0.29	0.11	1.08	1.24	0.05	0.01	0.04	0.12
45～54歳	0.27	0.16	0.50	0.59	0.23	0.12	0.35	1.07	0.04	0.04	0.15	△0.08
55～64歳	0.54	0.52	0.54	1.10	0.39	0.33	0.50	0.56	0.15	0.19	0.04	0.14
65～74歳	1.09	1.08	1.17	1.11	1.13	1.11	1.13	1.18	△0.04	△0.03	0.04	△0.07
75歳以上	1.13	1.16	1.09	1.06	0.57	0.55	0.59	1.06	0.16	0.21	0.10	0.00
女	3.59	3.58	4.00	4.06	4.14	4.19	4.04	4.00	△0.15	△0.21	△0.04	0.06
15～24歳	0.44	0.37	0.54	1.12	1.02	0.48	1.39	1.29	△0.18	△0.11	△0.45	△0.17
25～34歳	3.49	3.54	3.33	3.42	4.48	5.04	4.08	3.59	△0.59	△1.10	△0.35	△0.17
35～44歳	5.09	5.08	5.11	5.13	5.31	5.39	4.58	5.16	△0.22	△0.31	0.13	△0.03
45～54歳	4.35	4.23	4.57	5.19	5.27	5.32	5.26	5.06	△0.52	△1.09	△0.29	0.13
55～64歳	4.58	4.55	5.03	5.07	4.54	5.04	4.44	4.22	0.04	△0.09	0.19	0.45
65～74歳	4.31	4.35	4.30	4.17	4.22	4.27	3.58	4.10	0.09	0.08	0.32	0.07
75歳以上	3.02	3.06	2.49	2.51	2.36	2.32	2.40	2.54	0.26	0.34	0.09	△0.03

～男性の家事関連時間は増加傾向～

15歳以上の人の1日の家事関連時間を平成3年から比べてみると、女性の家事関連に費やす時間は、減少傾向であったが、平成18年に増加し、平成23年に再び減少となった。また、男性の家事関連に費やす時間はわずかながら増加傾向が続いている。(表10)

表10 男女別家事関連時間の推移(平成3年～平成23年)－週全体、15歳以上

単位: 時間. 分

	総数		男		女	
	時間数	前回差	時間数	前回差	時間数	前回差
平成 3年	2.29	—	0.22	—	4.23	—
平成 8年	2.24	△ 0.05	0.24	0.02	4.13	△ 0.10
平成13年	2.17	△ 0.07	0.33	0.09	3.51	△ 0.22
平成18年	2.32	0.15	0.36	0.03	4.14	0.23
平成23年	2.28	△ 0.04	0.44	0.08	3.59	△ 0.15

4 3次活動時間

～テレビ・ラジオ・新聞・雑誌に費やす時間は男性が長い～

15歳以上の人の休養等自由時間活動の時間(「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」、「休養・くつろぎ」の合計時間)(週全体)は3時間59分で、平成18年と比べると15分増加している。このうち「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」に費やす時間が2時間29分となっている。

男女別にみると、男性が4時間6分、女性が3時間52分で女性の方が短くなっている。

(表11)

～積極的自由時間活動は「趣味・娯楽」に費やす時間が長い～

15歳以上の人の積極的自由時間活動の時間(「学習・自己啓発・訓練(学業以外)」、「趣味・娯楽」、「スポーツ」、「ボランティア活動・社会参加活動」の合計時間)(週全体)は1時間13分で、平成18年と比べると1分減少している。このうち「趣味・娯楽」に費やす時間が44分と最も長く、次いで「学習・自己啓発・訓練(学業以外)」「スポーツ」の順となっている。

男女別にみると、男性は1時間25分、女性は1時間と男性の方が長くなっている。

(表11・図3)

図3 1日の3次活動時間—週全体、15歳以上

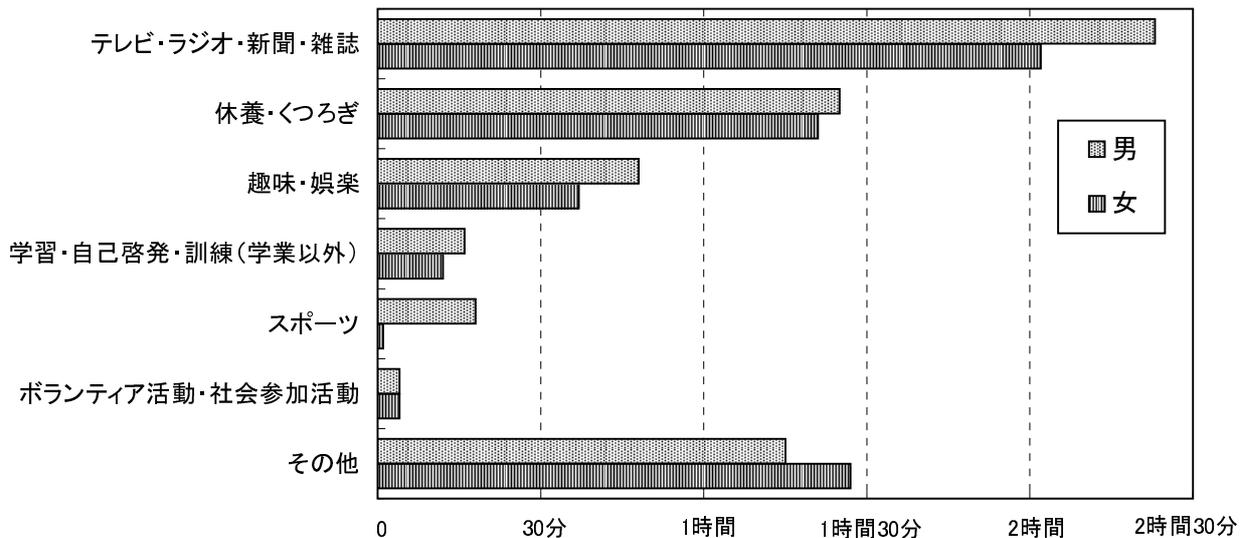


表11 3次活動時間(平成18年、23年)—週全体、15歳以上

		単位(時間、分)			
		総時間	休養等自由時間*1	積極的自由時間*2	その他*3
H23年	総数	6.24	3.59	1.13	1.15
	男	6.39	4.06	1.25	1.08
	女	6.11	3.52	1.00	1.20
H18年	総数	6.18	3.44	1.14	1.20
	男	6.28	3.48	1.26	1.15
	女	6.09	3.41	1.03	1.27
増減 (H23-H18)	総数	0.06	0.15	△ 0.01	△ 0.05
	男	0.11	0.18	△ 0.01	△ 0.07
	女	0.02	0.11	△ 0.03	△ 0.07

*1 休養等自由時間:「テレビ・ラジオ・新聞・雑誌」、「休養・くつろぎ」

*2 積極的自由時間:「学習・自己啓発・訓練(学業以外)」、「趣味・娯楽」、「スポーツ」、「ボランティア活動・社会参加活動」

*3 その他:「移動(通勤・通学を除く)」、「交際・つきあい」、「受診・診療」、「その他」

5 起床・就寝と出勤・帰宅の平均時刻

～全ての曜日で女性が男性より早起き～

15歳以上の有業者の平均起床時刻を曜日別にみると、平日が6時32分、土曜日が7時19分、日曜日が7時22分となっている。

男女別にみると、全ての曜日で女性の方が早くなっている。

一方、15歳以上の有業者の平均就寝時刻を曜日別にみると、平日が23時34分、土曜日が23時40分、日曜日が23時25分となっている。

男女別にみると、平日は女性が男性より早く、土曜日及び日曜日は男性の方が早い。

(表12)

表12 起床・就寝の平均時刻(平成18年、23年)—15歳以上・有業者

単位(時:分)

		平均起床時刻			平均就寝時刻		
		平日	土曜日	日曜日	平日	土曜日	日曜日
H23年	総数	6:32	7:19	7:22	23:34	23:40	23:25
	男	6:39	7:26	7:30	23:39	23:34	23:25
	女	6:22	7:11	7:13	23:28	23:47	23:26
H18年	総数	6:37	7:16	7:35	23:41	23:44	23:34
	男	6:43	7:19	7:34	23:42	23:39	23:30
	女	6:29	7:12	7:37	23:39	23:51	23:41
増減 (H23-H18)	総数	5分早い	3分遅い	13分早い	7分早い	4分早い	9分早い
	男	4分早い	7分遅い	4分早い	3分早い	5分早い	5分早い
	女	7分早い	1分早い	24分早い	11分早い	4分早い	15分早い

～平日の男性の仕事からの平均帰宅時刻は平成18年より22分早くなった～

15歳以上の有業者の平日における平均出勤時刻は、8時20分で、平成18年と比べると、9分早くなっている。

一方、15歳以上の有業者の平日における仕事からの平均帰宅時刻は、19時2分で平成18年と比べると、20分早くなっている。男女別にみると、男性は19時45分で平成18年より22分早くなっている。(表13-1・13-2)

表13-1 出勤・帰宅の平均時刻(平成18年、23年)—平日、15歳以上・有業者

単位(時:分)

		平均出勤時刻		平均帰宅時刻	
			全国順位		全国順位
H23年	総数	8:20	18	19:02	40
	男	8:00	20	19:45	40
	女	8:48	17	18:00	37
H18年	総数	8:29	26	19:22	45
	男	8:06	21	20:07	47
	女	9:07	38	18:07	35
増減 (H23-H18)	総数	9分早い		20分早い	
	男	6分早い		22分早い	
	女	19分早い		7分早い	

表13-2 出勤・帰宅の平均時刻 —平日、15歳以上・有業者

単位(時:分)

全国順位	都道府県名	平均出勤時刻
1	青森県	8:04
2	静岡県	8:05
3	佐賀県	8:12
4	新潟県	8:13
4	和歌山県	8:13
4	徳島県	8:13
4	香川県	8:13
18	奈良県	8:20

単位(時:分)

全国順位	都道府県名	平均帰宅時刻
47	東京都	19:45
46	神奈川県	19:29
45	千葉県	19:27
44	埼玉県	19:18
43	宮城県	19:06
42	兵庫県	19:04
40	奈良県	19:02
40	福岡県	19:02

* 全国順位は「時刻」の早いものから1位とする。

Ⅱ 生活行動

6 学習・自己啓発・訓練

～1年間に「学習・自己啓発・訓練」(仕事や学業は除く)を行った人は48万1千人、行動者率は38.4%～

「学習・自己啓発・訓練」の行動者数は48万1千人、行動者率は38.4%で、平成18年の行動者率と比べると、2.5ポイント低下している。

男女別にみると、行動者数は男性が22万7千人、女性が25万3千人となっており、行動者率は男性が38.5%、女性が38.3%で男性が女性より0.2ポイント高くなっている。これを平成18年の行動者率と比べると、男性が2ポイント、女性が2.9ポイント低下している。

～25歳から34歳の「学習・自己啓発・訓練」の行動者率が低下～

行動者率を年齢階級別にみると、15歳～24歳で48.3%と最も高くなっている。平成18年の行動者率と比べると、65歳～74歳で9.8ポイント高くなっていて、25歳～34歳で14.9ポイント低くなっている。

また男女別にみると、35歳～44歳、55歳～64歳、75歳以上を除く年齢階級で女性の方が高くなっている。(図4-1・4-2)

図4-1 「学習・自己啓発・訓練」年齢階級別行動者率(平成18年、23年)

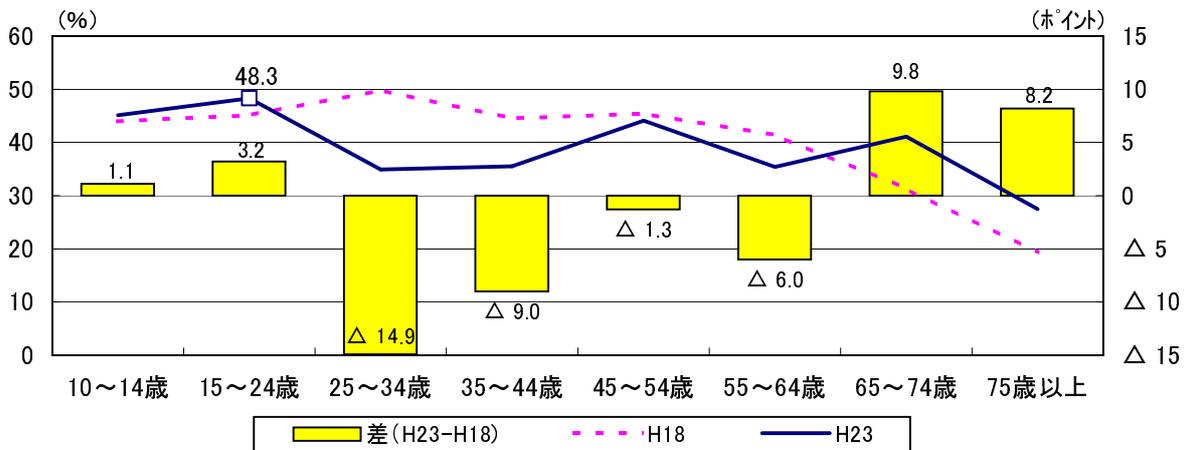
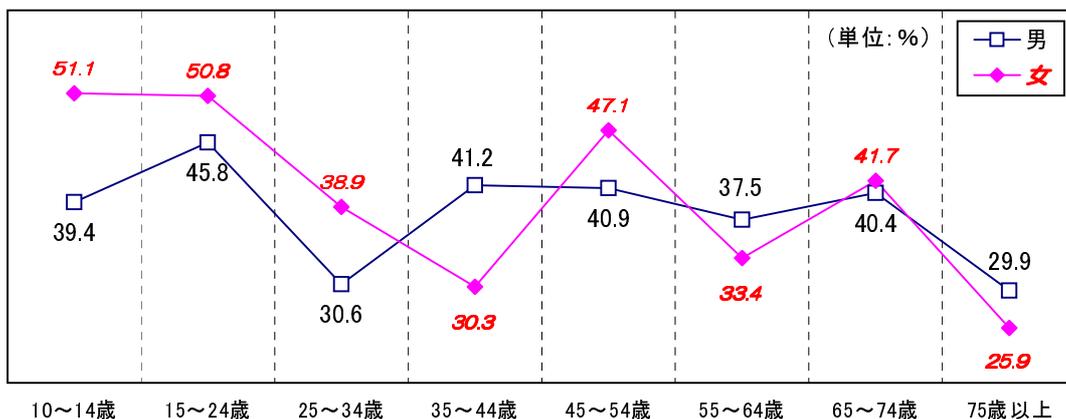


図4-2 「学習・自己啓発・訓練」男女別、年齢階級別行動者率



～行動者率が最も高いのは「パソコンなどの情報処理」～

「学習・自己啓発・訓練」の行動者について、種類別に行動者率をみると、「パソコンなどの情報処理」が14.3%と最も高く、次いで「芸術・文化」、「家政・家事」となっている。これを平成18年の行動者率と比べると、「パソコンなどの情報処理」が1.2ポイント上昇、「芸術・文化」が2ポイント減少、「家政・家事」が0.7ポイント減少となっている。

男女別にみると、男性は「パソコンなどの情報処理」が18.3%、次いで「芸術・文化」、「英語」となっている。女性は「芸術・文化」が14.9%、次いで「家政・家事」、「パソコンなどの情報処理」となっている。(図5-1・5-2)

図5-1 「学習・自己啓発・訓練」種類別行動者率(平成18年、23年)

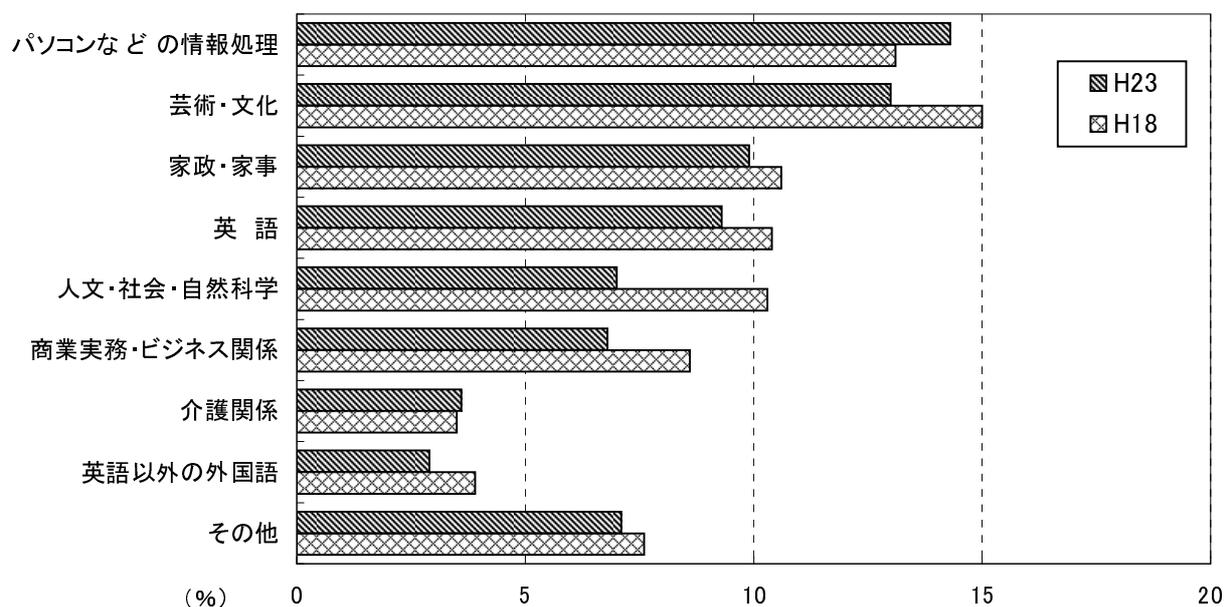
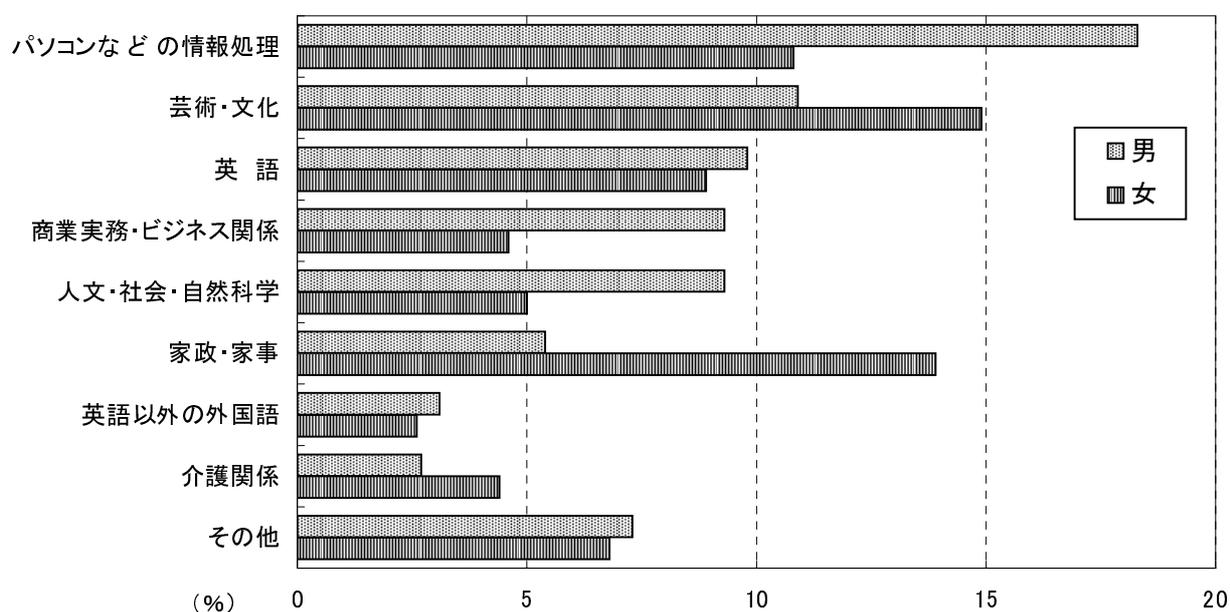


図5-2 「学習・自己啓発・訓練」種類別、男女別行動者率



7 ボランティア活動

～1年間に「ボランティア活動」を行った人は34万7千人、
行動者率は27.7%～

「ボランティア活動」の行動者数は34万7千人で、行動者率は27.7%となっている。これを平成18年の行動者率と比べると、0.3ポイント上昇している。

男女別にみると、行動者数は男性が15万7千人、女性が19万人となっており、行動者率は男性が26.5%、女性が28.8%で女性が男性より2.3ポイント高くなっている。これを平成18年の行動者率と比べると、男性が1ポイント、女性が1.5ポイント低下している。

～25歳から34歳の「ボランティア活動」の行動者率が上昇～

行動者率を年齢階級別にみると、65歳～74歳で36.1%と最も高くなっている。平成18年の行動者率と比べると、25歳～34歳で5.4ポイント高くなっていて、55歳～64歳で4.6ポイント低くなっている。

また男女別にみると、女性では35歳～44歳で41.5%、男性で65歳～74歳で35.5%と高くなっている。(図6-1・6-2)

図6-1 「ボランティア活動」年齢階級別行動者率(平成18年、23年)

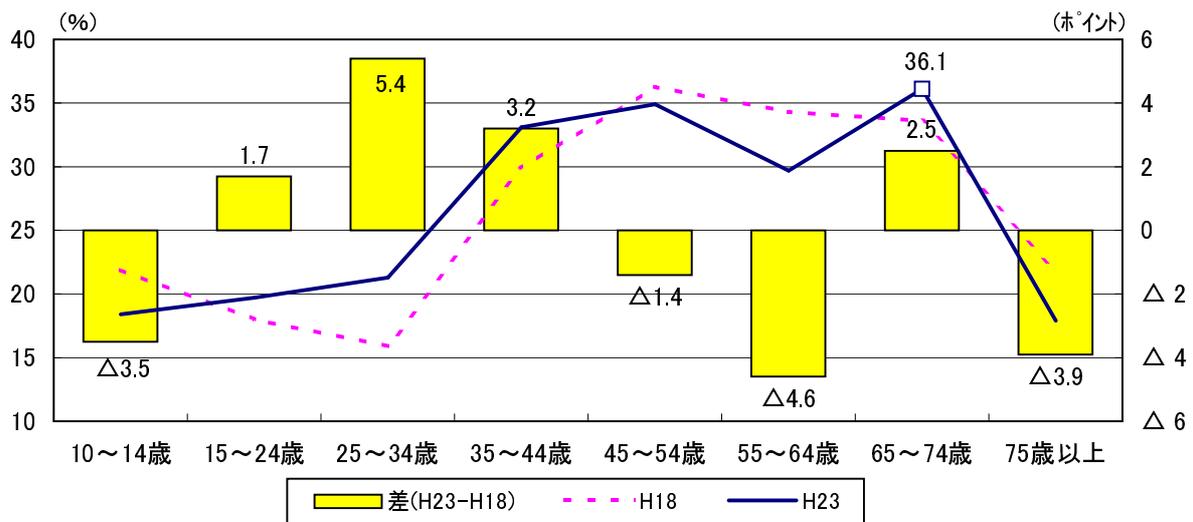
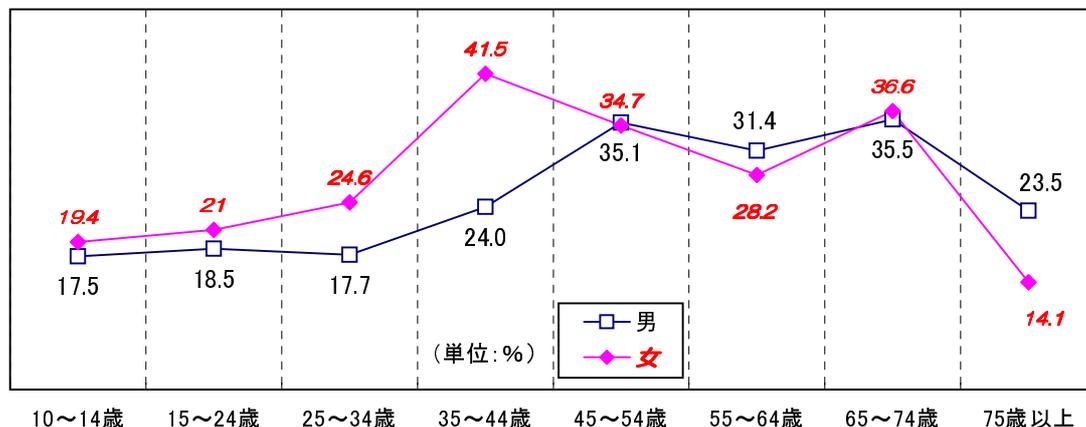


図6-2 「ボランティア活動」男女別、年齢階級別行動者率



～行動者率が最も高いのは「まちづくりのための活動」～

「ボランティア活動」の行動者について、種類別に行動者率をみると、「まちづくりのための活動」が13.3%と最も高く、次いで「子供を対象とした活動」、「安全な生活のための活動」となっている。これを平成18年の行動者率と比べると、「子供を対象とした活動」が2.7ポイント上昇、「高齢者を対象とした活動」が1.2ポイント低下となっている。

男女別にみると、男性は「まちづくりのための活動」が13.8%、次いで「安全な生活のための活動」、「子どもを対象とした活動」となっている。女性は「まちづくりのための活動」が12.9%、次いで「子供を対象とした活動」、「高齢者を対象とした活動」となっている。(図7-1・7-2)

図7-1 「ボランティア活動」種類別行動者率(平成18年、23年)

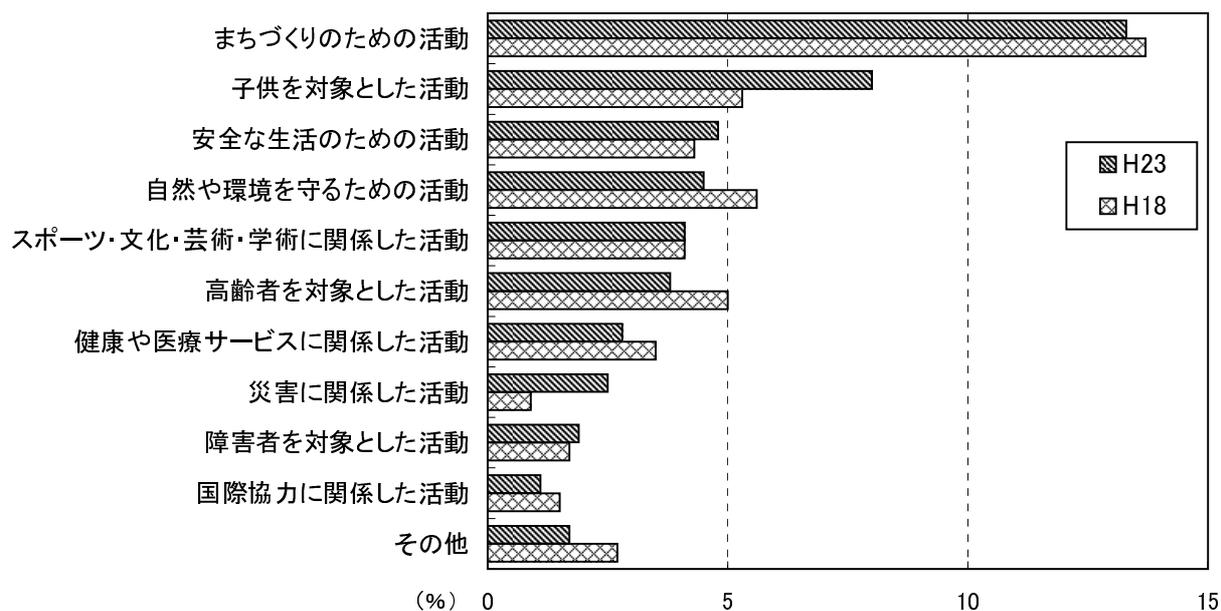
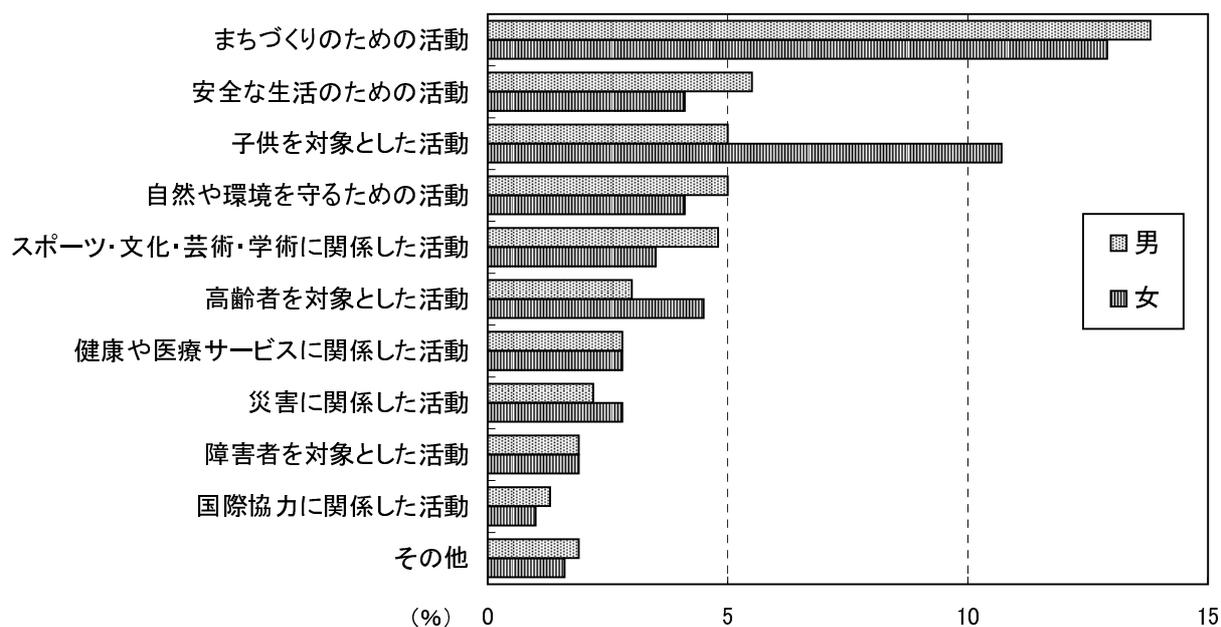


図7-2 「ボランティア活動」種類別、男女別行動者率



8 スポーツ

～1年間に「スポーツ」を行った人は80万7人、行動者率は64.5%～

「スポーツ」の行動者数は80万7千人で、行動者率は64.5%となっている。これを平成18年の行動者率と比べると、2.4ポイント低下している。

男女別にみると、行動者数は男性が42万1千人、女性が38万6千人となっており、行動者率は男性が71.2%、女性が58.4%で、男性が女性より12.8ポイント高くなっている。これを平成18年の行動者率と比べると、男性で1.9ポイント、女性で3ポイント低下している。

～65歳以上の「スポーツ」の行動者率が上昇～

行動者率を年齢階級別にみると、10歳～14歳が84.7%と最も高く、年齢が高くなるにつれておおむね低下している。平成18年と比べると、65歳以上は上昇しているが、他の年齢階級では低下している。

また男女別にみると、全ての年齢階級で男性の方が高くなっていて、10歳～14歳の男性では92.7%と高い数値となっている。(図8-1・8-2)

図8-1 「スポーツ」年齢階級別行動者率(平成18年、23年)

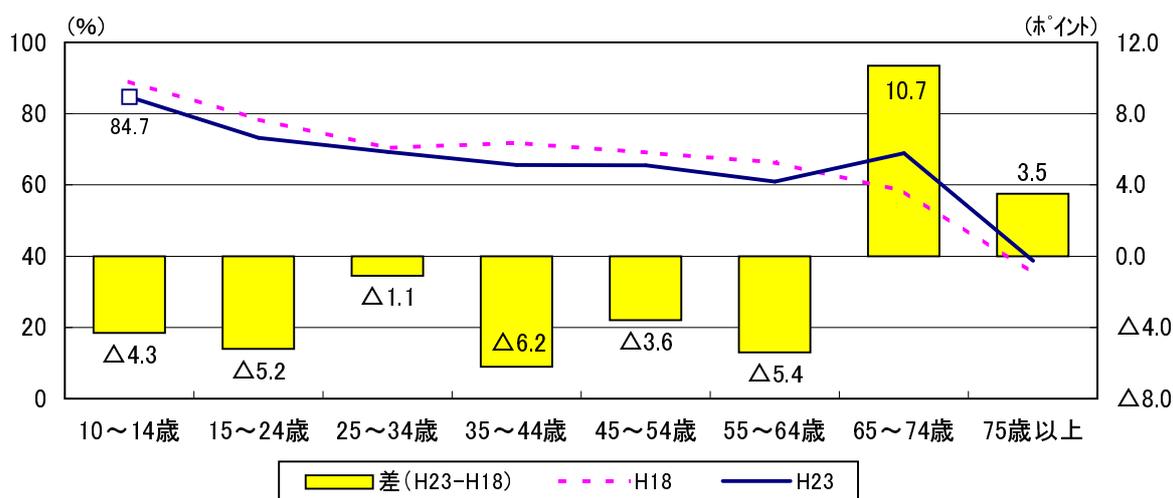
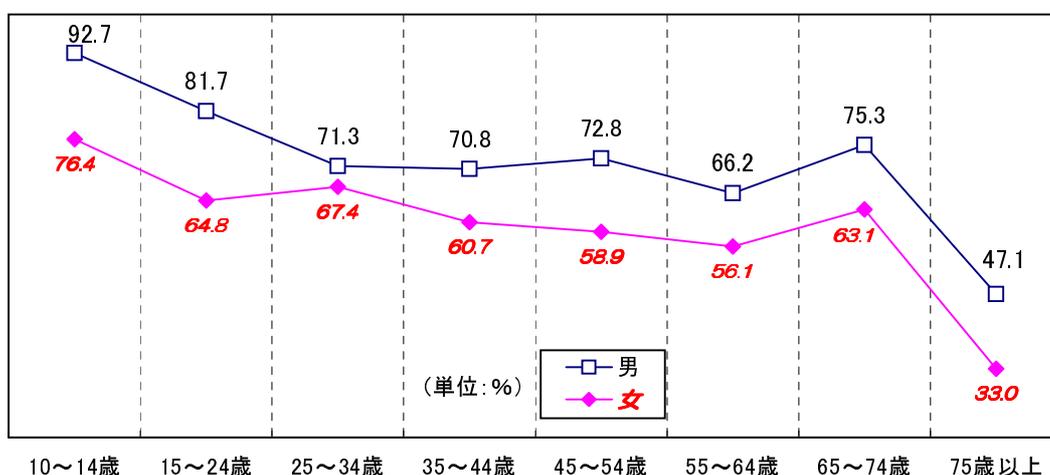


図8-2 「スポーツ」男女別、年齢階級別行動者率



～行動者率が最も高いのは「ウォーキング・軽い体操」～

「スポーツ」の行動者について、種類別に行動者率をみると、「ウォーキング・軽い体操」が37.1%と最も高く、次いで「ボウリング」「登山・ハイキング」となっている。

これを平成18年と比べると、「ウォーキング・軽い体操」が1.3ポイント上昇しているが、「ボウリング」が5.9ポイント低下、「水泳」が4.8ポイント低下などほとんどの種類で低下している。

男女別にみると、男女共「ウォーキング・軽い体操」が最も高く、以下男性は「ボウリング」「ゴルフ」、女性は「登山・ハイキング」「ボウリング」となっている。(図9-1・9-2)

図9-1 主な「スポーツ」種類別行動者率(平成18年、23年)

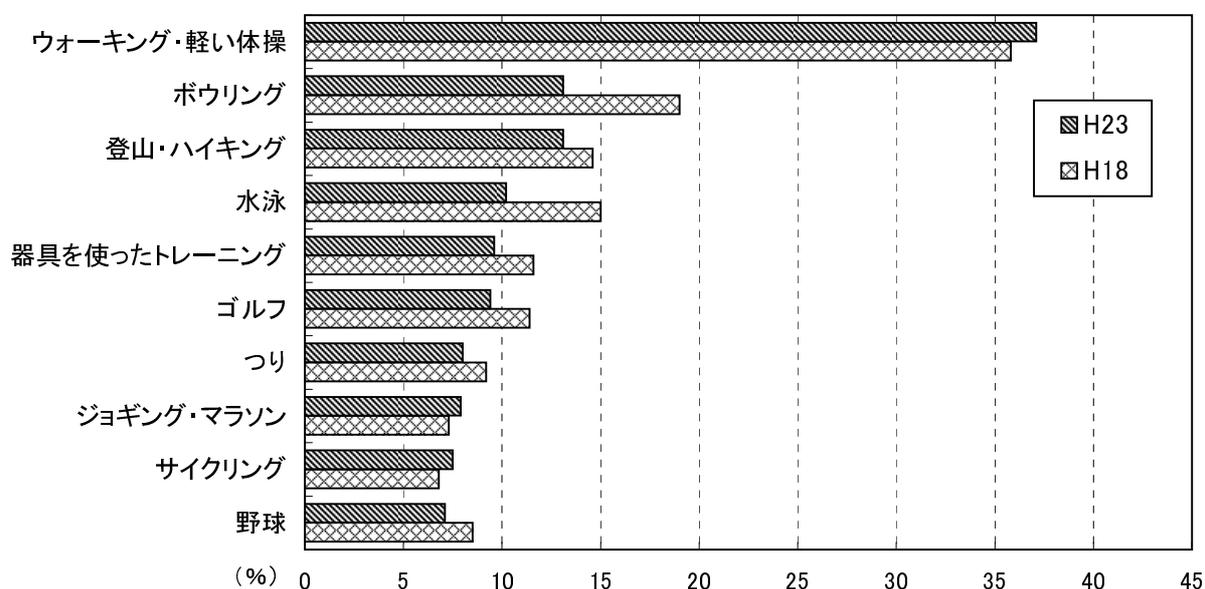
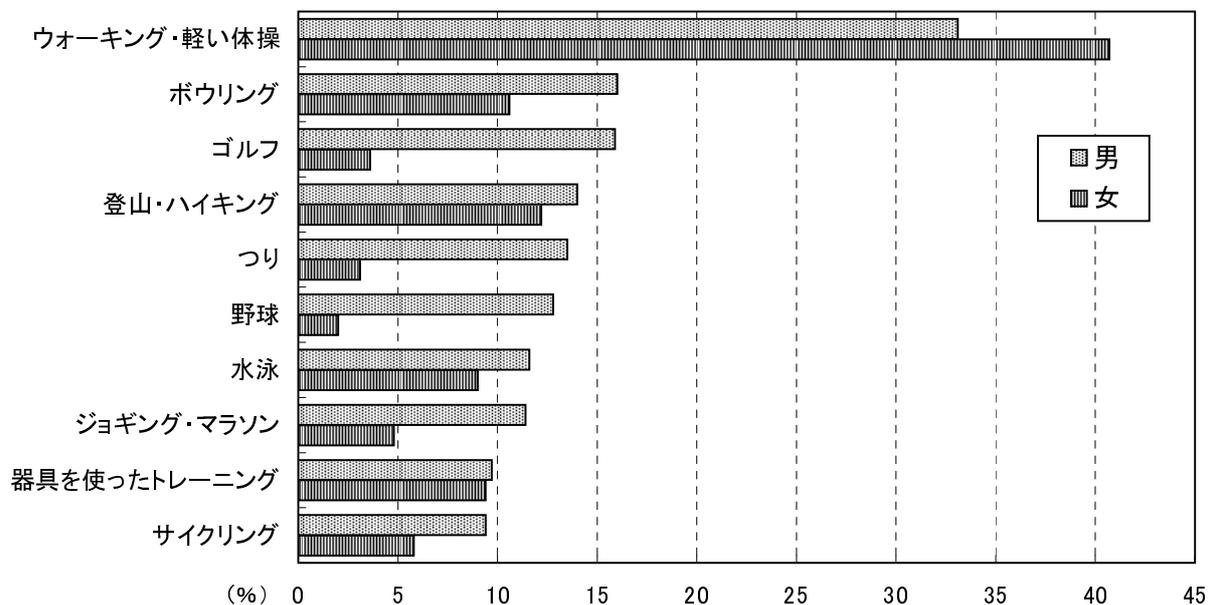


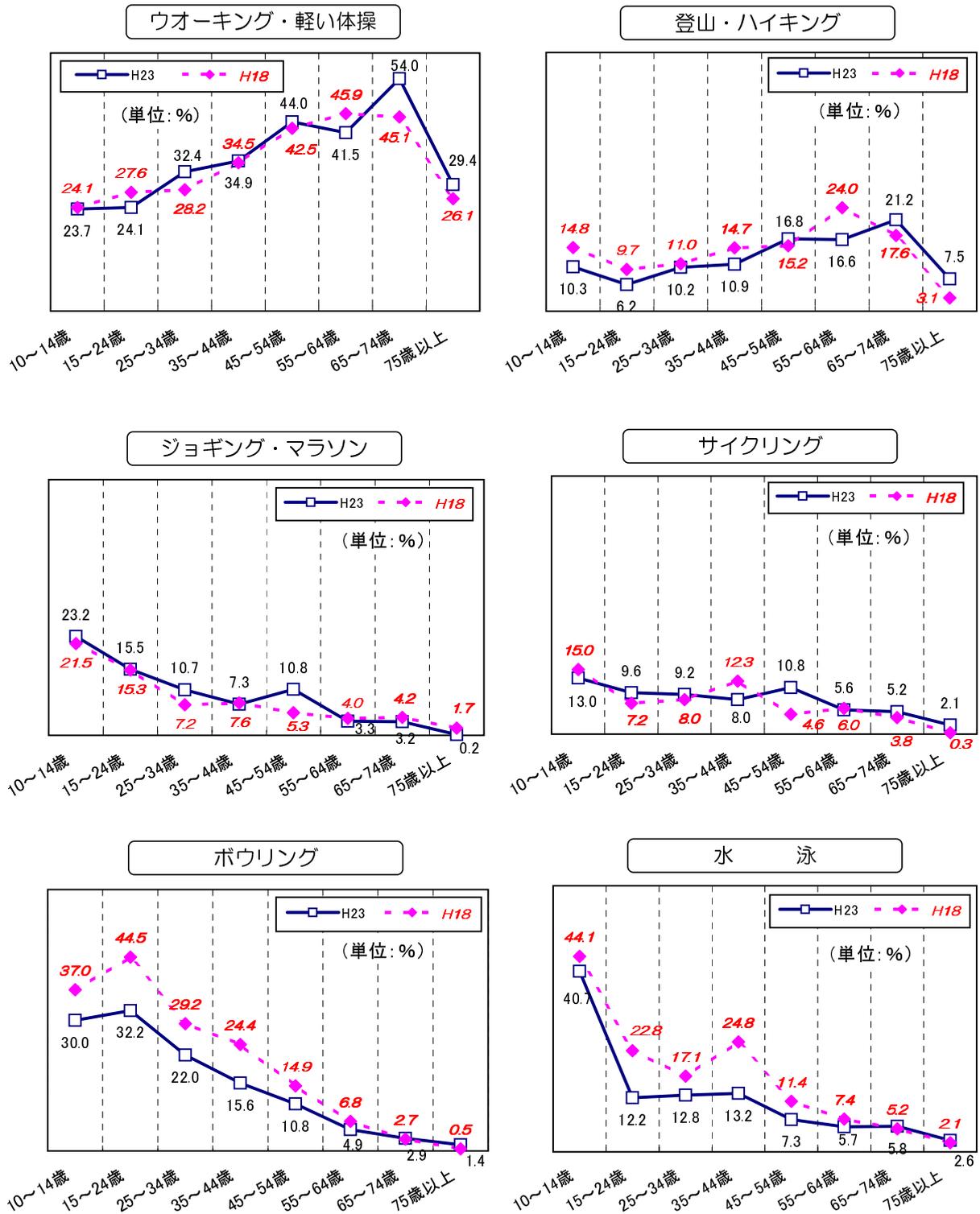
図9-2 主な「スポーツ」種類、男女別行動者率



～「ウォーキング・軽い体操」は65歳から74歳で特に上昇～

「スポーツ」の行動者率を主な種類、年齢階級別に平成18年と比べると、「ウォーキング・軽い体操」が65歳～74歳、「登山・ハイキング」が65歳以上、「サイクリング」「ジョギング・マラソン」が45歳～54歳で特に上昇している。「水泳」「ボウリング」は65歳以上のみで上昇している。(図10)

図10 主な「スポーツ」種類、年齢階級別行動者率(平成18年、23年)



9 趣味・娯楽

～1年間に「趣味・娯楽」を行った人は109万人、行動者率は87.1%～

「趣味・娯楽」の行動者数は109万人で、行動者率は87.1%となっている。これを平成18年の行動者率と比べると、0.1ポイント上昇している。

男女別にみると、行動者数は男性が51万2千人、女性が57万8千人となっており、行動者率は男性が86.6%、女性が87.5%で、女性が男性より0.9ポイント高くなっている。これを平成18年の行動者率と比べると、男性で0.8ポイント低下、女性で0.7ポイント上昇している。

～10歳から54歳の女性の「趣味・娯楽」の行動者率は90%を超える～

行動者率を年齢階級別にみると、10歳～14歳が93.7%と最も高く、年齢が高くなるにつれておおむね低下している。平成18年と比べると、65歳～74歳で9ポイント上昇している。

また男女別にみると、75歳以上を除く全ての年齢階級で女性の方が高くなっていて、25歳～34歳の女性では96%と高い数値となっている。(図11-1・11-2)

図11-1 「趣味・娯楽」年齢階級別行動者率(平成18年、23年)

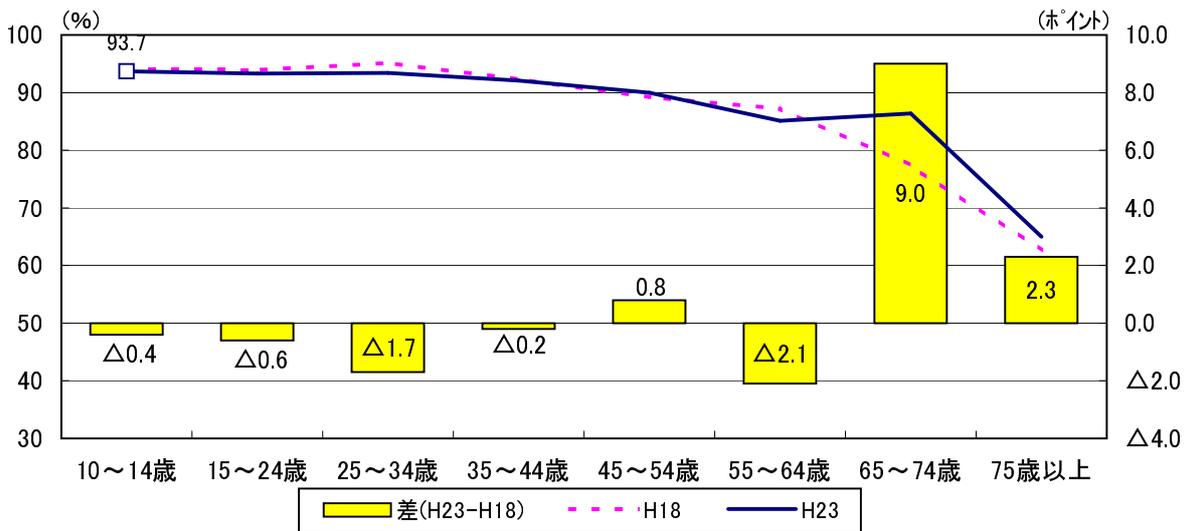
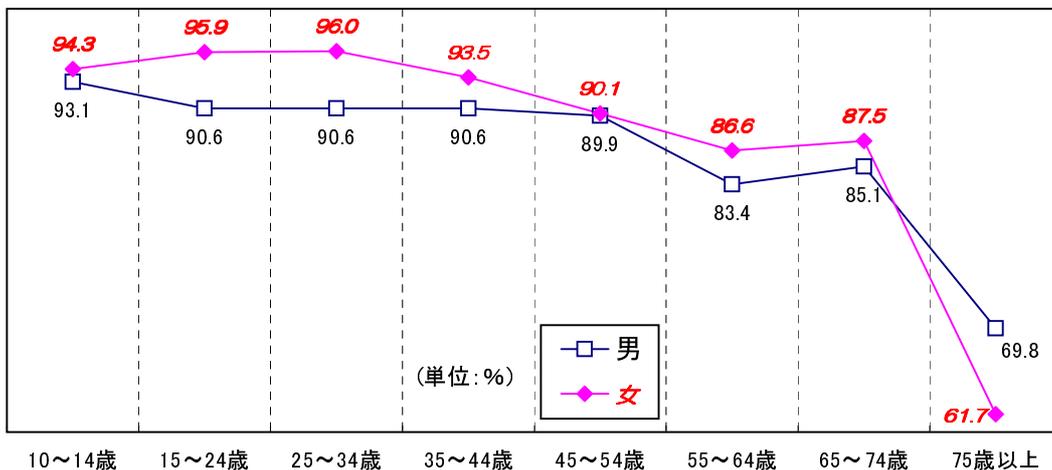


図11-2 「趣味・娯楽」男女、年齢階級別行動者率



～行動者率が最も高いのは「CD・テープ・レコードなどによる音楽鑑賞」～

「趣味・娯楽」の行動者について種類別に行動者率をみると、「CD・テープ・レコードなどによる音楽鑑賞」が50.2%と最も高く、次いで「趣味としての読書」「DVD・ビデオなどによる映画鑑賞」となっている。これを平成18年の行動者率と比べると、「DVD・ビデオなどによる映画鑑賞」が6.6ポイント低下、「CD・テープ・レコードなどによる音楽鑑賞」が5.1ポイント低下などとなっており、ほとんどの種類で低下している。

男女別にみると、男性は「CD・テープ・レコードなどによる音楽鑑賞」が47.6%と最も高く、次いで「DVD・ビデオなどによる映画鑑賞」、「テレビゲーム・パソコンゲーム」となっている。女性は「CD・テープ・レコードなどによる音楽鑑賞」52.5%と最も高く、次いで「趣味としての読書」、「映画鑑賞」となっている。(図12-1・12-2)

図12-1 主な「趣味・娯楽」種類別行動者率(平成18年、23年)

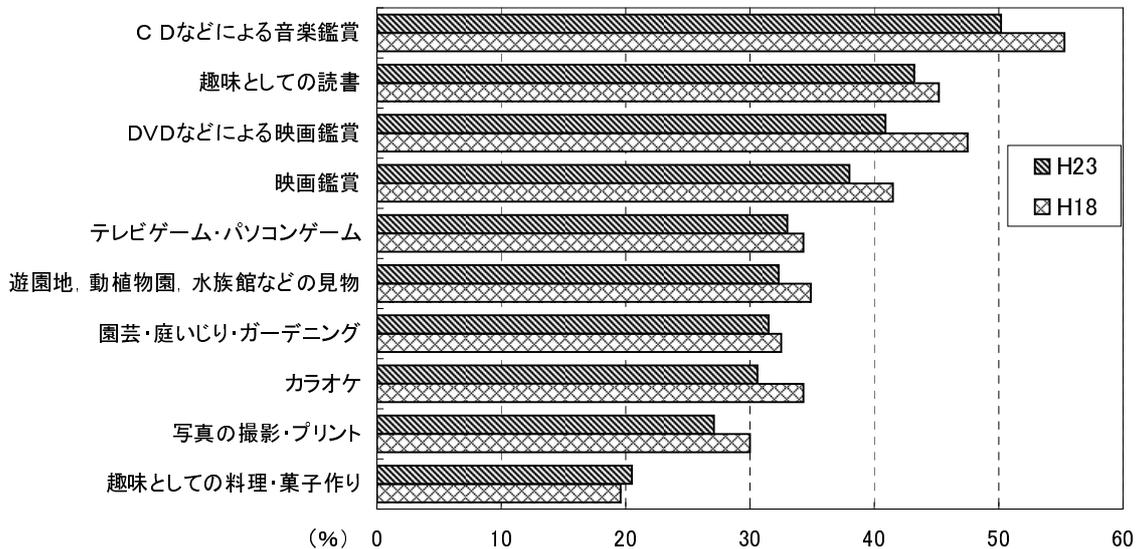
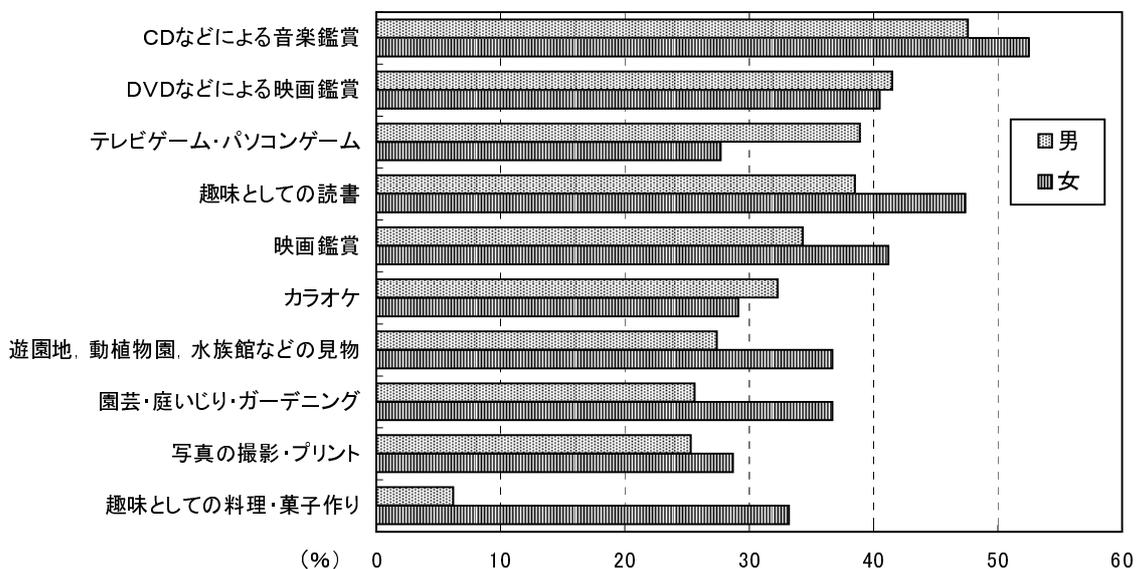


図12-2 主な「趣味・娯楽」種類別、男女別行動者率

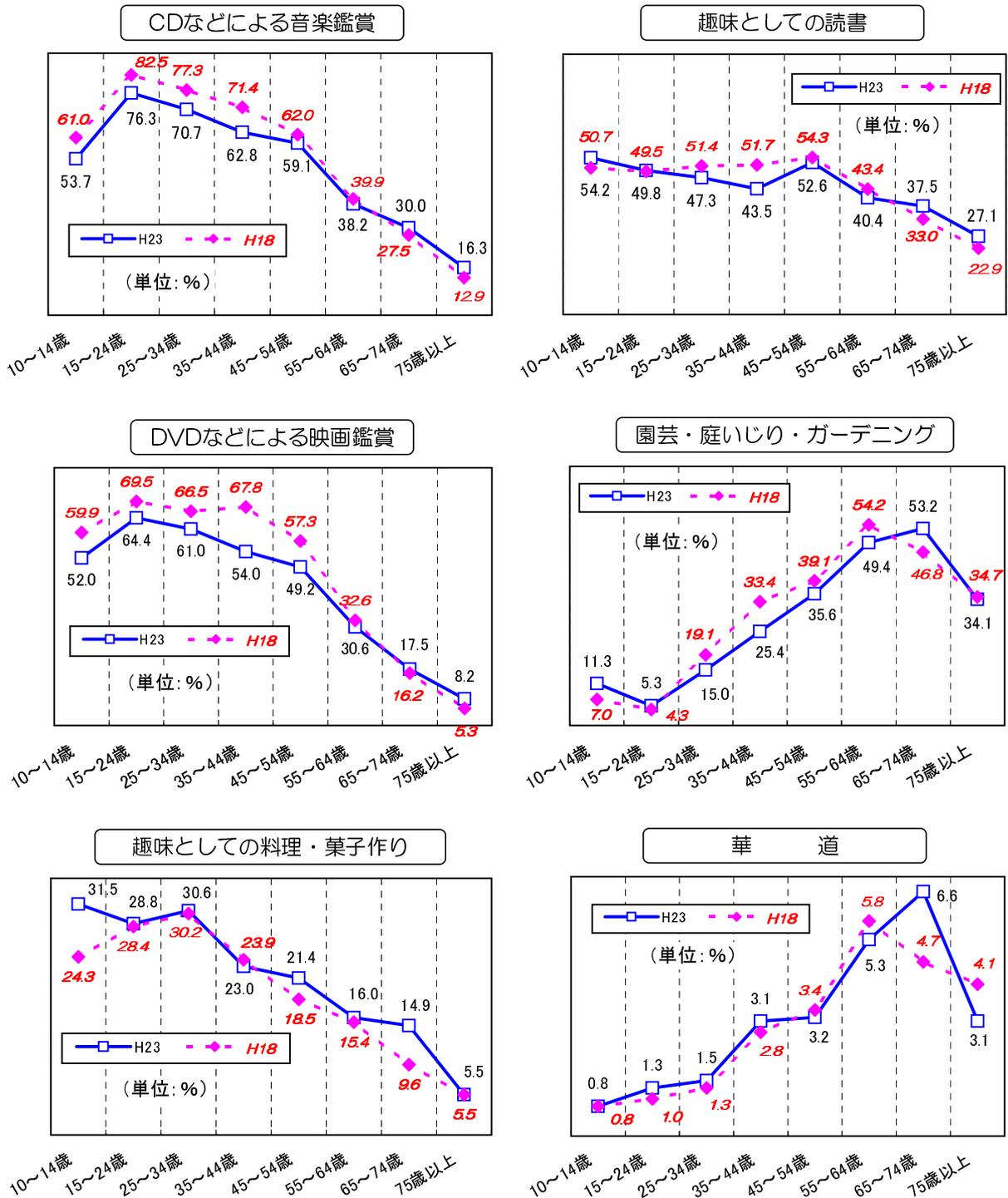


～「DVDなどによる映画鑑賞」は35歳から44歳で大きく低下～

「趣味・娯楽」の行動者率を主な種類、年齢階級別に平成18年と比べると、「趣味としての料理・菓子作り」が10歳～14歳、65歳～74歳で、「園芸・庭いじり・ガーデニング」「華道」が65歳～74歳で大きく上昇している。

一方、「CD・テープ・レコードなどによる音楽鑑賞」「DVD・ビデオなどによる映画鑑賞」は10歳～54歳で低下している。特に「DVD・ビデオなどによる映画鑑賞」は35歳～44歳で大きく低下している。(図13)

図13 主な「趣味・娯楽」種類、年齢階級別行動者率(平成18年、23年)



10 旅行・行楽

～1年間に「旅行・行楽」を行った人は96万1千人、行動者率は76.8%～

「旅行・行楽」の行動者数は96万1千人で、行動者率は76.8%となっている。これを平成18年の行動者率と比べると、1.6ポイント低下している。

男女別にみると、行動者数は男性が44万人、女性が52万1千人となっており、行動者率は男性が74.5%、女性が78.8%で、女性が男性より4.3ポイント高くなっている。これを平成18年の行動者率と比べると、男性で3.4ポイント、女性で0.1ポイント低下している。

～10歳から54歳の女性の「旅行・行楽」の行動者率は84%を超える～

行動者率を年齢階級別にみると、10歳～14歳が85.6%と最も高く、75歳以上を除く全ての年齢階級で73%を超える数値となっている。平成18年と比べると、55歳～64歳で大きく低下している。

男女別にみると、75歳以上を除く全ての年齢階級で女性の方が高くなっていて、10歳～54歳の女性では84%を超える高い数値となっている。(図14-1・14-2)

図14-1 「旅行・行楽」年齢階級別行動者率(平成18年、23年)

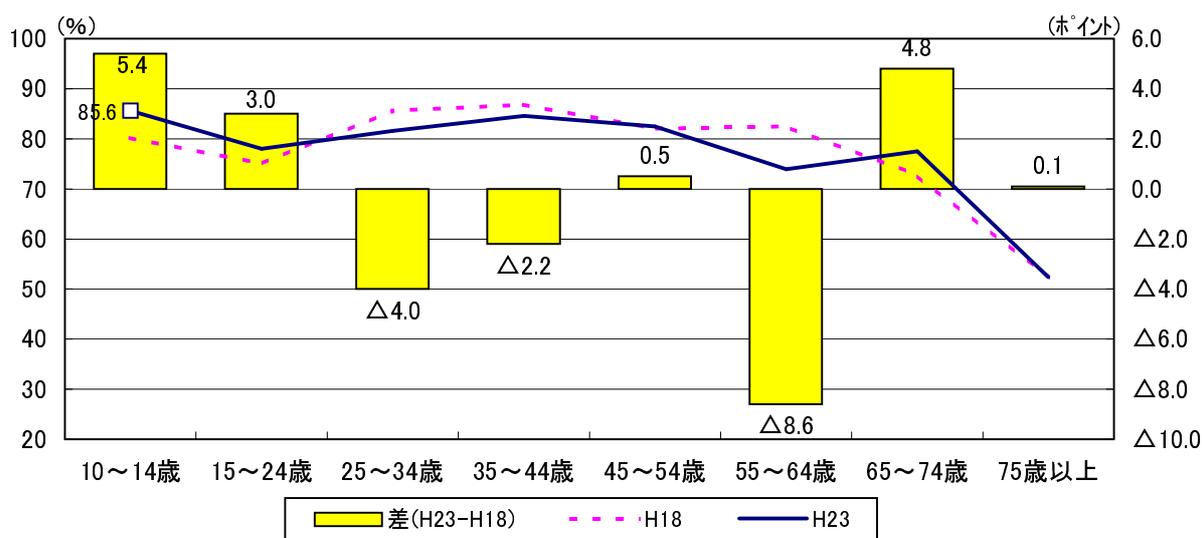
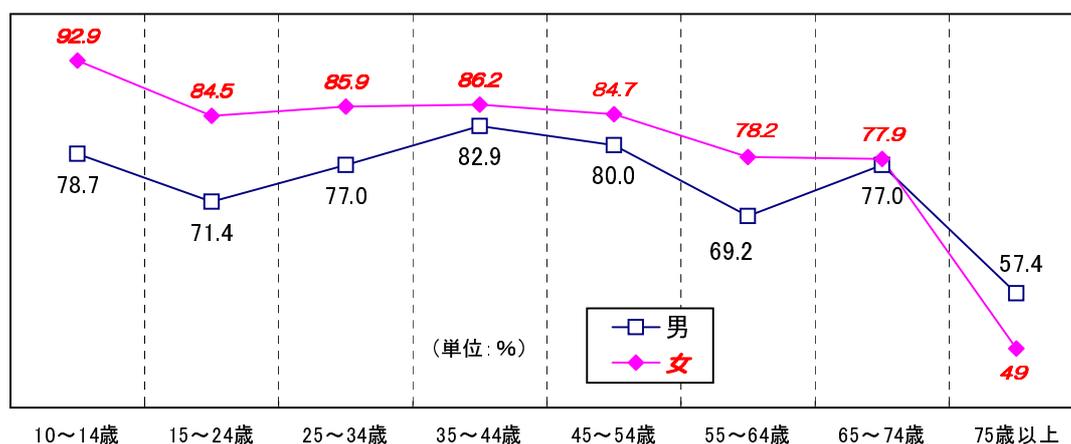


図14-2 「旅行・行楽」男女別、年齢階級別行動者率



～行動者率が最も高いのは「行楽(日帰り)」～

「旅行・行楽」の行動者について、種類別に行動者率をみると、「行楽(日帰り)」が62.1%と最も高く、次いで「観光旅行(国内)」 「帰省・訪問などの旅行」となっている。これを平成18年と比べると、「行楽(日帰り)」が0.2ポイント低下、「観光旅行(国内)」や「帰省・訪問などの旅行」は4ポイント以上低下している。

男女別にみると、男女共に「行楽(日帰り)」が最も高く、次いで「観光旅行(国内)」となっている。(図15-1・15-2)

※「旅行」とは、1泊2日以上にわたるすべての旅行、「行楽」とは、宿泊を伴わず半日以上かけて行うものをいう。

図15-1 「旅行・行楽」種類別行動者率(平成18年、23年)

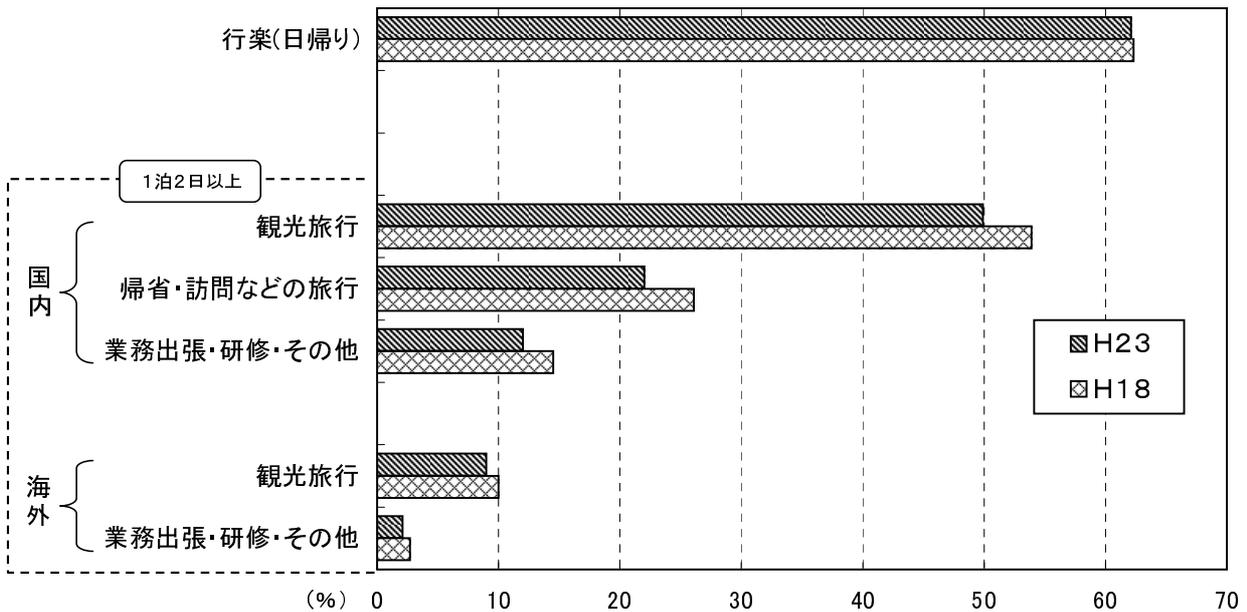
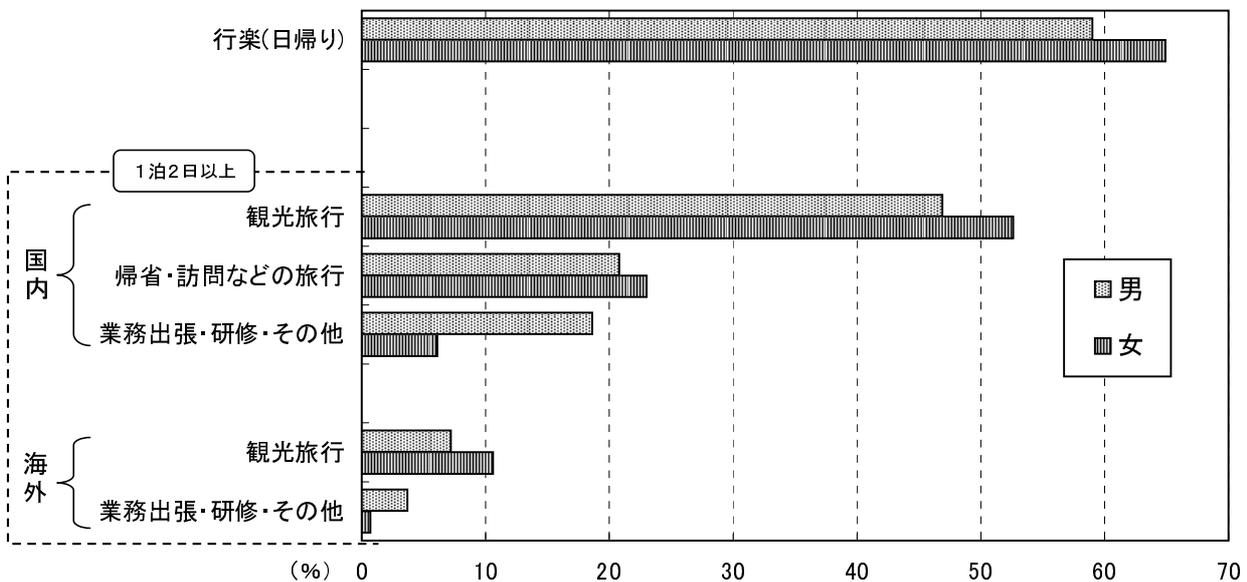


図15-2 「旅行・行楽」の種類別、男女別行動者率



～25歳から34歳の「旅行・行楽」の行動者率が上昇～

「旅行・行楽」の行動者率を種類、年齢階級別に平成18年と比べると、「行楽(日帰り)」は55歳～64歳で8.1ポイント低下、「観光旅行(国内)」も55歳～64歳で13.3ポイント低下となっている。

男女別にみると、「行楽(日帰り)」が65歳以上を除く全ての年齢階級で、「観光旅行(国内)」が全ての年齢階級で、女性の方が高くなっている。また「観光旅行(海外)」では15歳～34歳の年齢階級で女性が男性より10ポイント以上高くなっている。

(図16-1・16-2・16-3)

※「旅行」とは、1泊2日以上にわたるすべての旅行、「行楽」とは、宿泊を伴わず半日以上かけて行うものをいう。

図16-1 「行楽(日帰り)」の男女、年齢階級別行動者率

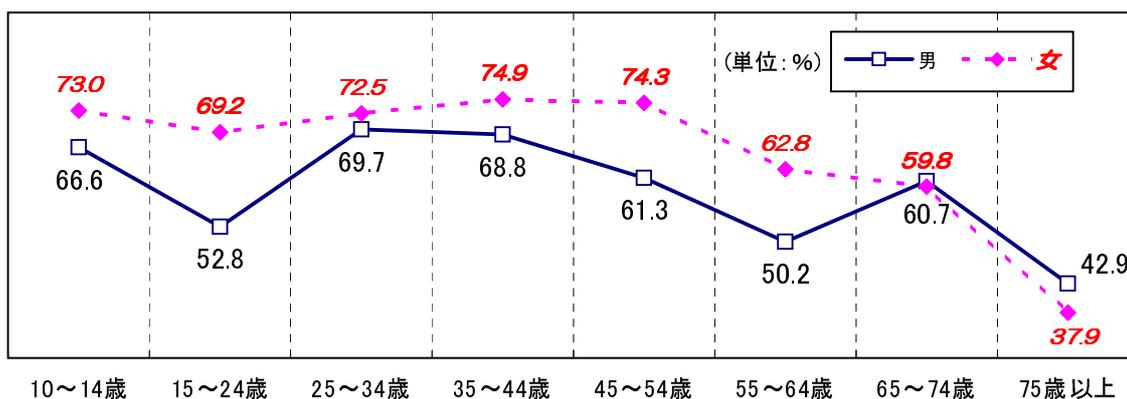


図16-2 「観光旅行(国内)」の男女、年齢階級別行動者率

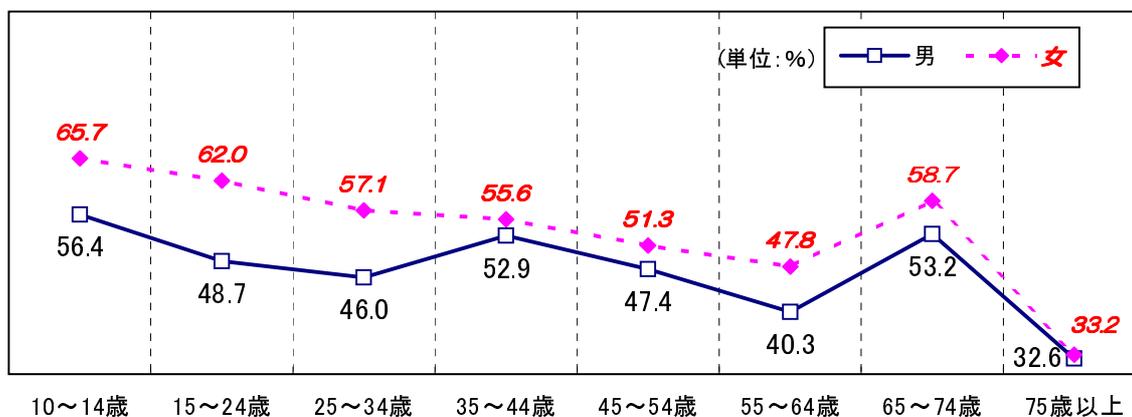
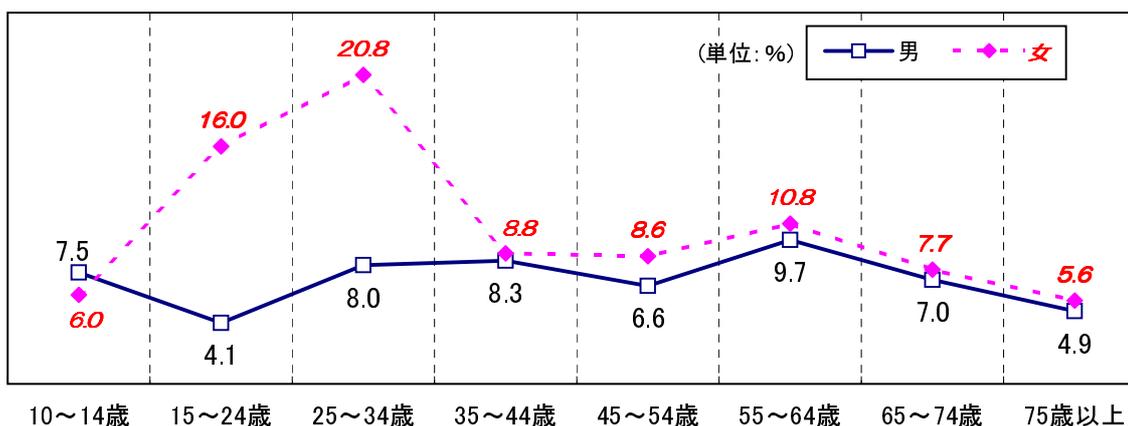


図16-3 「観光旅行(海外)」の男女、年齢階級別行動者率



行動者率の全国ランキング

1 「スポーツ」の種類別行動者率

【行動者率単位:%】

◇登山・ハイキング

順位	都道府県名	行動者率
	全 国	9.2
1	東 京 都	14.0
2	奈 良 県	13.1
3	神 奈 川 県	12.6
4	埼 玉 県	11.7
5	長 野 県	11.6
6	群 馬 県	11.0
7	栃 木 県	10.6
8	千 葉 県	10.1
9	京 都 府	9.9
9	大 阪 府	9.9
⋮	⋮	⋮
47	沖 縄 県	3.0

◇ウォーキング・軽い運動

順位	都道府県名	行動者率
	全 国	35.2
1	千 葉 県	39.0
2	東 京 都	38.7
3	神 奈 川 県	38.6
4	埼 玉 県	37.9
5	広 島 県	37.4
6	滋 賀 県	37.2
7	奈 良 県	37.1
8	静 岡 県	36.9
9	山 口 県	36.7
10	群 馬 県	35.7
⋮	⋮	⋮
47	青 森 県	26.3

◇バドミントン

順位	都道府県名	行動者率
	全 国	4.8
1	鹿 児 島 県	5.9
2	沖 縄 県	5.8
3	長 野 県	5.6
3	滋 賀 県	5.6
3	奈 良 県	5.6
3	広 島 県	5.6
7	岡 山 県	5.4
8	茨 城 県	5.3
8	熊 本 県	5.3
10	北 海 道	5.2
10	埼 玉 県	5.2
⋮	⋮	⋮
47	徳 島 県	3.1

◇ゴルフ

順位	都道府県名	行動者率
	全 国	8.1
1	栃 木 県	10.4
1	愛 知 県	10.4
3	茨 城 県	10.1
3	東 京 都	10.1
5	千 葉 県	9.6
5	山 梨 県	9.6
7	奈 良 県	9.4
8	群 馬 県	9.2
8	兵 庫 県	9.2
10	埼 玉 県	9.0
10	大 阪 府	9.0
⋮	⋮	⋮
47	青 森 県	2.8

◇柔道

順位	都道府県名	行動者率
	全 国	0.5
1	富 山 県	1.0
2	秋 田 県	0.9
2	山 梨 県	0.9
4	奈 良 県	0.8
4	岡 山 県	0.8
6	北 海 道	0.7
6	福 島 県	0.7
6	群 馬 県	0.7
6	長 野 県	0.7
6	兵 庫 県	0.7
6	香 川 県	0.7
⋮	⋮	⋮
47	石 川 県	0.2

2 「趣味・娯楽」の種類別行動者率

【行動者率単位：％】

◇華道



順位	都道府県名	行動者率
	全 国	2.0
1	奈良県	3.5
2	島根県	3.1
3	鳥取県	3.0
3	広島県	3.0
3	山口県	3.0
3	香川県	3.0
7	石川県	2.8
7	京都府	2.8
9	富山県	2.7
9	岡山県	2.7
⋮	⋮	
47	沖縄県	0.9

◇園芸・庭いじり・ガーデニング

順位	都道府県名	行動者率
	全 国	26.6
1	長野県	31.6
2	奈良県	31.5
3	群馬県	31.1
3	山口県	31.1
5	山梨県	30.7
6	栃木県	30.5
7	岡山県	30.2
8	千葉県	29.9
9	茨城県	29.7
9	愛媛県	29.7
⋮	⋮	
47	沖縄県	20.8

◇茶道



順位	都道府県名	行動者率
	全 国	1.5
1	奈良県	2.6
2	山口県	2.3
3	石川県	2.2
4	東京都	2.1
4	富山県	2.1
4	滋賀県	2.1
4	鳥取県	2.1
4	岡山県	2.1
4	香川県	2.1
10	福井県	2.0
10	岐阜県	2.0
10	島根県	2.0
⋮	⋮	
46	鹿児島県	0.6
46	沖縄県	0.6

◇絵画・彫刻の制作

順位	都道府県名	行動者率
	全 国	3.2
1	神奈川県	4.3
2	奈良県	4.1
3	長野県	4.0
4	東京都	3.8
5	千葉県	3.7
5	京都府	3.7
7	滋賀県	3.5
8	埼玉県	3.4
9	富山県	3.3
9	大阪府	3.3
9	兵庫県	3.3
9	広島県	3.3
⋮	⋮	
47	秋田県	1.8

◇料理・菓子づくり



順位	都道府県名	行動者率
	全 国	17.2
1	奈良県	20.5
2	長野県	19.3
3	東京都	19.2
3	神奈川県	19.2
3	滋賀県	19.2
6	宮城県	18.6
7	茨城県	18.1
8	千葉県	17.8
9	北海道	17.7
9	大分県	17.7
⋮	⋮	
47	高知県	13.4

◇囲碁

順位	都道府県名	行動者率
	全 国	1.3
1	北海道	1.9
2	奈良県	1.8
3	茨城県	1.7
3	岡山県	1.7
5	富山県	1.6
5	大阪府	1.6
5	兵庫県	1.6
5	山口県	1.6
9	千葉県	1.5
9	東京都	1.5
9	島根県	1.5
9	香川県	1.5
9	沖縄県	1.5
⋮	⋮	
46	新潟県	0.6
46	熊本県	0.6